

令和5年度実証実験サポート事業 課題提案票

テーマ 16	地籍調査における WEB 立会の導入検証（袋井市）
--------	---------------------------

1. 解決したい課題の内容

地籍調査に係る境界確定合意の時間を短縮したい

- ・土地の正しい位置や形、地目（土地の用途区分）、面積などを明らかにし、土地に関する権利を法的に保護することを目的に、国土調査法に基づき地籍調査が実施されている。
- ・地籍調査における土地の境界については、基本、隣接する全ての所有者と立会い、双方合意の上で決めなければならない。しかしながら、相続などで受け継いだ土地の所有者が遠方に住んでいたり、高齢などにより体が不自由で現地立会いが困難であったりするなど、地理的身体的な要因で立会の時間が取れず、立会いへの協力が得られないことがある。
- ・また現地での立ち合いをする際に、境界を確定判断するための情報が一元化されていないことで、事務作業が膨大化していたり立会人の判断に時間が掛かったりすることが課題である。

2. 実現したい目標について

- ・遠方に住んでいる方や市内の高齢などにより体が不自由な方が、実際に立ち会わなくても遠隔で土地の境界を確認する方法を確立したい。
- ・①市：境界確定協議のデータ、②法務局：測量図・公図、③GPS等の位置情報、④航空写真（Google や Yahoo、国土地理院などのオープンデータ）などをリアルタイムで確認できることで、立会人の判断時間の短縮と資料準備などの事務効率化を図りたい。
- ・時間の経過とともに風景（まちの姿）が変わってしまうことから、過去の航空写真や Google ストリートビューなど、時間軸のビジュアルデータを活用することで、立会人の判断時間の短縮を図りたい。

3. 必要とする技術について

以下を想定するがこれにこだわらない。

- ・地理データと画像データを適切どころから引用・統合し、リアルタイムで遠隔参照できる技術

4. 想定する実証実験（内容・希望時期等）について

希望時期は特になし。

以下内容を想定するがこれにこだわらない。

- ・ システムの実証導入・検証

5. 課題に関連する事業のホームページ URL

- ・ 袋井市「地籍調査のあらまし」

https://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/soshiki/15/nousei3/tochi_doro/1422535831539.html

(参考) 現場での確認資料の一例

境界位置写真 (〇〇〇〇様) 1/2



遠景 J182



近景 J182



遠景 J182K

公図を基に J182 から 4.23m のところに J182K の境界を作図しています。杭は入れてありません。

